

海老名市立杉久保小学校 学校運営協議会 議事録
(令和 7 年度 第 3 回)

1 日時 令和 7 年 12 月 17 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 30

2 場所 海老名市立杉久保小学校 校長室

3 出席委員 伊藤健三委員長、山本敏昭委員、山口勝広委員、岩崎佐容子委員、
金子由美子委員、佐藤憲一委員、山室修次委員、坂野千幸委員、
坂田美帆委員、山田優委員、東優也委員

4 会議の内容

(1) 伊藤委員長挨拶

12 月に入り、残すところ 2 週間余りとなった。

3 学期、また 1 年のまとめに向け、進めていきたい。

(2) 学校長挨拶

2 学期は行事が目白押しで、子どもの成長もたくさん見ることができた。
PTA が中心となり開催したわいわいフェスタも楽しませてもらえた。

(3) 令和 7 年度学力学習状況調査の結果について

(坂野校長)

- ・4 月 17 日に実施した学力学習状況調査では、国語・算数・理科の 3 教科を実施した。
- ・国語では、○文章を読み取り、内容を理解する力 ○図を読む力 ○必要な情報を見出す力 ○構造化して図に表す力 に課題がみられると分析された。
- ・算数では、○図を読む力 ○式を読む力 ○必要な情報を見出す力 ○必要な条件を捉える力 ○筋道立てて説明する力 に課題がみられると分析された。
- ・理科では、○必要な情報や条件を捉える力、○筋道立てて説明する力、○「問題→予想→実験→結果→考察」という科学的な見方考え方 に課題がみられると分析された。

(山室委員)

- ・文章を読み取る力が必要だと感じた。読み取れないと問題を解くことができない。

(坂野校長)

- ・全国学力状況調査では出題される問題が、いま求められている学力であることを意味していて、生活の中で生きる力になる。

(山室委員)

- ・基礎的な読む力・書く力について、昔は宿題で日記や作文を書くこともあったが、今は書く宿題もあまりない。3～4年生は音読の宿題もあれば良いのかもしれない。
- ・ICT機器を使った学びもある。繰り返し学習なら効果的だろうが…。

(金子委員)

- ・タブレットの学習はすぐに答えが出るから分かった気になる。書くことで覚えることもあるのではないか。

(坂野校長)

- ・海外の教育では、ICTから戻す動きも出てきている。

(佐藤委員)

- ・音読は大切だと思う。ある程度学校で音読を価値づける方向性というものを見出しても良いのではないか。本を読むことは知識の獲得の基礎であり、もっと高めていくと良い。
- ・理科好きは外の世界に対する興味関心があるということだと思う。外の世界とつながっていく大切さを持続させていきたい。
- ・算数を好きにしていくための活動をどのようにしていくか。そろばんなどは良い方法だと思うが。

(坂野校長)

- ・週に2回、朝読書の時間を設けている。音読の活動は3～4年生までだけでなく、6年生まで行うとよいと思っている。

(伊藤委員長)

- ・算数の基礎の部分について、意味が十分に理解出来ていないという点は心配だ。学んだことを生活場面で使うことが少ないということもあるだろうが…。

(金子委員)

- ・興味関心をもつことは大切。ただ、学びももう少し長い目で見た方が良いということもあるのではないかとも感じる。

(山口委員)

- ・職場に新入社員が入ったとき、とにかく会話が成り立たないと感じる。今的小学生の姿は、何年後かの社会人の姿もあるので、コミュニケーションについて危機感を覚える。

(山室委員)

- ・挨拶はコミュニケーションの第一歩。挨拶の大切さをもう少し強調していくことは必要だと思う。

(山本委員)

- ・昔に比べて問題をしっかり読み解く力、理解する力を問う問題が増えている。読んで想像することの大切さを感じた。読み込む力をもっともっとつけていってほしい。
- ・以前に比べ挨拶は増えてきているように感じる。挨拶をしない子はしない子なりの事情があるのかもしれない。気長に声をかけていく必要があると思う。

(坂野校長)

- ・小学校は国語・算数・理科いずれも基礎に当たる部分。系統的な学びができていいけたらと考えている。
- ・学力学習状況調査の分析をもとに、学年ごとに授業づくりについて話し合ってまとめている。これを今後の授業づくりに生かしていく。

(4) 令和7年度教育活動アンケートの結果について

(坂野校長)

- ・児童アンケートについて。学校行事やいじめ対策に関する項目は肯定的回答が非常に高かった。
- ・地域の行事参加や「こどもの森」、早寝早起きに関する項目は、肯定的回答のポイントが低く見えるが、以前に比べて大幅に上昇している。「こどもの森」に関しては、「こどもの森学」として教育課程に据えたことが影響していると考えられる。
- ・保護者アンケートに関しても、全体的にポイントが上昇している。

(佐藤委員)

- ・「こどもの森」については、学校としてしっかりとやろうとしたことで肯定的回答がアップしたなら、問題意識をもって取り組むことが大切になるのだと思う。

(坂野校長)

- ・夏休みに先生向けのワークショップを開催することで、2学期の学びが広がっていった。本物に触ることは大切だと感じる。

(山室委員)

- ・児童が回答した授業に関する設問について、肯定的回答が90%を超えており、見方を変えれば10%は分からないと感じているとも言える。授業が分からないであるとか、宿題を忘れる（「宿題は忘れずに取り組む」との設問の肯定的回答85%）ということがこれからどう影響てくるか…。

- ・登校班に遅れ、単独で登校する子が一定数いる。また保護者に送ってもらう子も多い。子ども同士で登校することで学ぶことも多いのではないか。
(早寝早起きの設問から)

(金子委員)

- ・登校班での登校も、今の流れではいずれ個別登校に変わっていくだろう。
- ・立哨する人がいてもいなくても変わらないという声を聞くこともある。

(岩崎委員)

- ・PTA の維持が難しい中では、以前のように「緑のおばさん」にお願いしなければならなくなるかもしれない。立哨に立てなくなつたときにどうしていくか考えていく必要がある。

(坂野校長)

- ・市内の学校では、立哨員が立っている場所もある。学区内でも以前、立哨員を市教委に依頼したが、人が見つからずにいる。

(伊藤委員長)

- ・保護者や地域とのつながりがなくなつてきているように感じる。

(山室委員)

- ・朝、校長先生が校庭に立ち、児童と挨拶をするという活動をしているが、今後も継続していくのか。この活動を行うことで、周りの道路周辺で遊ぶ児童も少なくなり、よい取り組みであると思う。

(坂野校長)

- ・今は登校班が到着する8時10分に合わせて行っているが、もしも個別登校になると早く到着する子もいると予想される。

(岩崎委員)

- ・地域の方から、個別登校になると、時間が伸びてしまうので立哨できないとの話も出てきている。

(山室委員)

- ・杉の子タイムはどうなつてているか。

(坂野校長)

- ・今は漢字学習を中心に取り組んでいるが、効果的な方法を検討していくと考えている。

(5) 学校の様子

(坂野校長)

- ・今は2学期のまとめの段階である。クラスによっては個別に落ち着かない子はいる。必要に応じて担任以外の教員がついて、様子を見守るなど、児童の学習権を保障できるように取り組んでいる。

・運動会前に一時期インフルエンザが流行ったこともあったが、今は落ち着いている。この調子で元気に2学期を終えられればと思っている。

(伊藤委員長)

- ・不登校の児童はどのくらいいるのか。

(山田委員)

- ・先月、学校をお休みすることが多かった児童は約10名。この中にはインフルエンザ等の体調不良で長期間お休みした児童も含まれている。

(佐藤委員)

- ・学校に来れない子はどうしているのか。

(坂田教頭)

- ・ゆっくりと学びを進めていくことになる。

(坂野校長)

- ・ICTを活用することも可能である。

(伊藤委員長)

- ・まなびっ子にもっと子どもが来てくれたらしい。月曜にしか行っていない理由は何か。

(山室委員)

- ・教室の確保が難しいというのが一番の理由。毎回10人程度が来てくれる。

(岩崎委員)

- ・あそびっ子に来ている子も、まなびっ子がやっていると分かると「まなびっ子に行く」と言って出かけていくことがある。

(伊藤委員長)

- ・まなびっ子はゆっくりと取り組んでいけるのがよいところである。

(6) その他

(坂野校長)

- ・今回の学校運営協議会でのご意見を参考に、学校運営を進めていきたい。
- ・次回第4回の運営協議会は、大谷中学校区合同で行う予定。中学校区3校で検討した学校教育目標について検討する予定。

※ 次回は、令和8年3月13日(金)15:00～ 大谷中学校にて開催する予定。